

わらび機まつりの由来

蕨は江戸時代の終わりのころから綿織物業が盛んになり、昭和30年代くらいまで生産されてきました。

蕨の機(はた)織りの先覚者である「高橋新五郎翁」は、現在の塚越(稲荷)神社の末社に「機(はた)神様」(機(はた)神社)として祀られております。

新五郎翁は、文政9年(1826年)7月7日の霊夢のお告げにより、それまでの高機(たかばた)に改良を加え「青縞(あおしま)」を織り始めたところ、江戸の市場を圧倒する人気を得、その後、普段着などにする「双子織(ふたごおり)」を世に出し、綿織物生産地・蕨は、全国的に知られるようになりました。



蕨市指定文化財 高橋新五郎遺跡
所在地／塚越3丁目



爾来、いつのころからか、この7月7日を機業創始の日として、同業者が集まってお祭りをするようになりましたが、時の町長・故高橋庄次郎氏はこれを町全体の祭りとしてとりあげ、織物業はもちろん町全体の産業の発展を願い、昭和26年7月7日「第1回 機(はた)まつり」が盛大に行われました。

その後、昭和28年には七夕装飾コンクールを実施し、昭和30年から8月7日を中心に開催するようになり、昨年から8月第一金曜日・土曜日・日曜日の3日間に開催を変更し、「わらび機(はた)まつり」は蕨の誇る一大観光事業となりました。

※本年の機まつり式典は8月7日(木)午前9時から塚越稲荷社において開催します。

ごあいさつ



蕨市観光協会会長
わらび機まつり実行委員会
委員長 明石 哲平

蕨の夏を彩る最大の祭典「わらび機まつり」が本年七十二回を迎えることとなりました。
古くは綿織物の産地として全国的に知られ、栄えた我がまち蕨の歴史と伝統あるこのわらび機まつりは、蕨市を代表する観光行事として、毎年市内外から多くの来街者で賑わいをみせております。

現在、実行委員会を中心に、来る8月1日(金)・2日(土)・3日(日)に皆様楽しんでいただける、素晴らしい「わらび機まつり」を企画し、準備を進めているところであります。

期間中、西口駅前通りには各商店・団体等による箱飾り、七夕飾り、保育園の小竹飾り、小学生による竹飾りが賑わいに花を添えております。また本年は、市民団体「はたごころ」さんに「機織り体験コーナー」の運営をお願いし、機まつりの起源に触れていただくイベントを企画しました。

さらに、「蕨音頭」「蕨小唄」を伝承するための市民参加による手おどり、「スターライトステージ」や「織姫広場のステージ」、交流協定を結んでいる片品村による農産物直売、蕨をPRする蕨書き順Tシャツや蕨ブランド認定品の販売も行います。
結びに、このまつりが、市民と来街者との交流、地域産業の振興、郷土文化の向上の一翼を担い、蕨の伝統行事として更に大きく育っていくことを切に願うものであります。

ワールド・ワイドに躍進する
各種記録紙の加工製造のパイオニア

株式会社 中川製作所
NAKAGAWA MFG. CO., LTD.

蕨市錦町2-5-21

TEL. 048-444-8211 FAX. 048-443-6652

事業所：埼玉・茨城・米田・ドイツ・マレーシア・中国・ベトナム

ITEC

Institute of Tech.& Econ.

株式会社 アイテック計画

東京都新宿区四谷4-28 YKBエンサインビル9F

TEL.03-3358-6061(代)

明治安田は蕨市と包括連携協定を締結しており地元に着実に活動しております

ひとに健康を、まちに元気を。

明治安田生命から、明治安田へ。

川口西営業所 TEL 048-227-1800

川口市本町4-1-8 川口センタービル6階

TSUTSUMI

〒335-0004 蕨市中央 4-24-26 TEL.048-431-5111(代)

ジュエリーツツミ蕨店 048-432-5930

もしものときに備えて...

セレモニー

ご葬儀の「事前相談」「事前見積」を無料で承っております。



葬儀会場 蕨ホール セレモニーで 検索
☎0120-76-7000 www.sougi.info

お問い合わせは

ふるさとまちづくり運動

蕨市観光協会

蕨市中央1-8-5

☎048-434-5601

☎080-9578-5564 (まつり開催期間中)